

2015 年度後期とちぎ MOT プログラム・イグゼクティブコース
第 2 部「世界で活躍する企業の人材育成」指定図書

宇都宮大学大学院
工学研究科客員教授
林 明 夫

1. 指定図書

- (1) マイケル・マローン著「インテル―世界で最も重要な会社の産業史―」
文藝春秋社 2015 年 9 月 20 日刊
- (2) 「Start-up Nations」の日本語訳 ダン・セノール、シャウル・シンゲル著「アップル、グーグル、マイクロソフトはなぜ、イスラエル企業を欲しがるか―イノベーションが次々に生まれる秘密―」ダイヤモンド社 2015 年 5 月 18 日刊
- (3) エリック・ブリニョルフソン、アンドリュウ・マカフィー著「ザ・セカンド・マシン・エイジ」日経 BP 社 2015 年 8 月 3 日刊
- (4) ステファン・ヘック、マット・ロジャース著「リソース・レボリューションの衝撃―100 年に一度のビジネスチャンス―」プレジデント社 2015 年 9 月 1 日刊
- (5) モートン・マイヤーズ著「セレンディピティと近代医学―独創、偶然、発見の 100 年―」中公文庫、中央公論新社 2015 年 4 月 25 日刊
- (6) 大塚啓二郎著「なぜ貧しい国はなくなるのか―正しい開発戦略を考える―」日本経済新聞社 2014 年 3 月 19 日刊
- (7) マリアナ・マツカート著「企業家としての国家―イノベーション力で官は民に劣るといふ神話―」薬事日報社 2015 年 9 月 11 日刊
- (8) シュンペーター著「経済発展の理論(上)(下)」岩波文庫 岩波書店 1977 年 9 月 16 日刊
- (9) 野中郁次郎、竹内弘高著「知識創造企業」東洋経済新報社 1996 年 3 月 21 日刊
- (10) 山梨広一著「シンプル―戦いのレベルを上げる実践的アプローチ、その戦略は一言で言えるか」東洋経済新報社 2014 年 3 月 27 日刊
- (11) 熊谷徹著「日本とドイツ、ふたつの戦後」集英社新書 集英社 2015 年 7 月 22 日刊
- (12) 八代尚宏著「日本的雇用慣行を打ち破れ―働き方改革の進め方―」日本経済新聞出版社 2015 年 4 月 22 日刊
- (13) 田沢由利著「在宅勤務(テレワーク)が会社を救う―社員が元気に働く企業の新戦略―」東洋経済新報社 2014 年 2 月 13 日刊
- (14) 漫画版「世界の歴史 1～10 巻」集英社文庫 集英社 2009 年 4 月 22 日刊
- (15) アナウンサーが読む「聞く教科書、山川詳説世界史」山川出版社 2013 年 11 月 25 日刊、
木谷勤著「もういちど読む山川世界現代史」山川出版社 2015 年 3 月 30 日刊
- (16) 金谷治訳注「論語」岩波文庫 岩波書店 1999 年 11 月 16 日刊
- (17) 小林勝人訳注「孟子(上)(下)」岩波文庫 岩波書店 1972 年 6 月 16 日刊
- (18) 金谷治訳注「大学・中庸」岩波文庫 岩波書店 1998 年 4 月 16 日刊
- (19) 呉兢著 守屋洋訳「貞観政要(じょうがんせいよう)」ちくま学芸文庫 筑摩書房 2015 年 9 月 9 日刊
- (20) 内村鑑三著「後世への最大遺物、デンマルク国の話」、「代表的日本人」ともに岩波文庫 岩波書店刊

(16)～(19)を読み興味が深まったら、明治書院刊「新釈漢文体系」で各々の作品に親しんでください。

- (21)マイケル・ポーター、エリザベス・オルムステッド・ティスバーク著 山本雄士訳「医療戦略の本質—価値を向上させる競争—」日経PB社 2009年6月15日刊
- (22)クレイトン・M・クリステンセン著、山本雄士訳「医療イノベーションの本質—破壊的創造力の処方箋—」碩学舎 2015年4月25日刊
- (23)八代尚宏著「反グローバリズムの克服—世界の経済政策に学ぶ—」
- (24)新潮選書、新潮社 2014年10月25日刊
- (25)八代尚宏著「規制改革で何が変わるのか」ちくま新書、筑摩書房 2015年8月10日
- (26)八田達夫著「ミクロ経済学Ⅰ、市場の失敗と政府への対策」2008年11月6日刊
- (27)八田達夫著「ミクロ経済学Ⅱ、効率化と格差是正」東洋経済新報社 2008年8月13日刊

2. コメント

- ・以上を本プログラム第2部「世界で活躍する企業の人材育成」の指定図書といたします。これから、来年3月末日までの半年間、じっくり腰をすえて、ノートを取りながらお読みください。
- ・「第1グループ」(1)～(5)で、「グローバル社会のイノベーションとは何か」を考えてください。(1)(2)(3)は必読書です。
- ・「第2グループ」(6)(7)で、「国の発展とは何か」を考えてください。
- ・「第3グループ」(8)～(11)で、「イノベーションと知識社会とは何か」を考えてください。
- ・「第4グループ」(12)(13)で、「新しい働き方とは何か」を考えてください。
- ・「第5グループ」(14)(15)で、グローバル時代に欠かせない「世界史」の学び直しを考えてください。
- ・「第6グループ」(16)～(20)で、「リーダーとは何か」を考えてください。(16)(17)(18)(19)は、現代語訳でゆっくりとお読みください。最後に(20)の2冊をお読みください。
- ・「第7グループ」医療改革に関心ある方は、マイケルポーター、クリステンセン両先生の著作の山本雄士先生の翻訳をお読みください。
- ・「第8グループ」(12)で八代先生の考えに興味を持たれた方は、(23)～(27)でミクロ経済学の最先端の理論を身に付けてください。

3. お願い

- ・これらの本の何冊かをお読みになって考えたことと、本プログラム第2部で考えたことを、A4版レジュメ1～2枚にまとめ、その要旨を2月17日(水)の林明夫の講義前日までに事務局の宮寄様宛に、メールでお送りください。
- ・皆様の積極的な御参加を希望いたします。では、がんばって。

以上